

漢方薬学概論

《担当者名》教授 / 高上馬 希重

【概要】

日本の伝統医学である漢方医学について、漢方の考え方や疾患概念、代表的な漢方処方への適応や副作用などに関する基本的事項を習得する。漢方の特徴、基本的な用語、診断と治療の考え方、主な漢方処方に関する知識を習得することを目的とする。また漢方薬の副作用と使用上の注意について基本的事項を修得する。

【全体目的】

漢方の考え方、疾患概念、代表的な漢方薬の適応、副作用や注意事項などに関する基本的事項を習得する。

【学修目標】

漢方の特徴ならびにそこで使われる基本的な用語を説明できる。

漢方での薬物治療の基礎となる漢方処方の分類を説明できる。

漢方医学における診断と治療の考え方、治療に用いられる主な漢方処方について説明できる。

漢方薬の副作用と使用上の注意を説明できる。

「漢方薬学概論」は「薬用植物学」、「生薬学」、「基礎薬学実習」と関連することを認識できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	漢方薬の概要 教科書：p42～50 資料配付	漢方の特徴について概説できる。 漢方の基本用語を説明できる。 関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標 E2-(10)- -1, 2, E2-(10)- -1, 3	高上馬 希重
2	漢方薬の基礎と応用 教科書：p261～284 資料配付	配合生薬の組み合わせによる漢方薬の系統的な分類が説明できる。 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。 関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標 E2-(10)- -3, E2-(10)- -2	高上馬 希重
3	漢方薬の基礎と応用 教科書：p261～284 資料配付	配合生薬の組み合わせによる漢方薬の系統的な分類が説明できる。 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。 関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標 E2-(10)- -3, E2-(10)- -2	高上馬 希重
4	漢方薬の基礎と応用 教科書：p261～284 資料配付	配合生薬の組み合わせによる漢方薬の系統的な分類が説明できる。 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。 関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標 E2-(10)- -3, E2-(10)- -2	高上馬 希重
5	漢方薬の基礎と応用 教科書：p261～284 資料配付	配合生薬の組み合わせによる漢方薬の系統的な分類が説明できる。 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。 関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標 E2-(10)- -3, E2-(10)- -2	高上馬 希重
6	漢方薬の基礎と応用 教科書：p261～284 資料配付	配合生薬の組み合わせによる漢方薬の系統的な分類が説明できる。 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。	高上馬 希重

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標 E2-(10)- -3、E2-(10)- -2	
7	漢方薬の基礎と応用 教科書：p261～284 資料配付	配合生薬の組み合わせによる漢方薬の系統的な分類が説明できる。 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。 関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標 E2-(10)- -3、E2-(10)- -2	高上馬 希重
8	漢方薬の副作用と注意点 教科書：p261～284 資料配付	漢方薬の副作用と使用上の注意点を例示して説明できる。 関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標 E2-(10)- -1	高上馬 希重

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末定期試験（筆記試験）（100％）。また定期試験後は解説を実施する。

【教科書】

新訂生薬学 9版増補版（南江堂）、2年次前期購入済み

【学修の準備】

予習としては、次回の授業範囲の教科書を読んで、理解しておくこと（50分）。

復習は、教科書、プリント、講義メモを活用し、学修を深めること（50分）。

復習として、毎回講義終了後に実施する演習問題を活用し、学修を深めること。

【関連するモデル・コアカリキュラムの到達目標】

E2 薬理・病態・薬物治療

(10) 医療の中の漢方薬

【 漢方薬の基礎】 【 漢方薬の応用】 【 漢方薬の注意点】

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。

2. 有効で安全な薬物療法の実践、ならびに人々の健康な生活に寄与するために必要な、基礎から応用までの薬学的知識を修得している。